

GREEN RANGER NEWS

2022年4月号 Vol.336



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

植林地ではマンサクが咲き、コブシも間もなく咲きそうです。

今月下旬にはサクラの並木通りでお花見もできますよ。

戦争やコロナウイルス、大地震と不安な毎日が続きますが、たまには山の春を楽しみませんか！

賛助会員から正会員登録をしてくださった皆さま、ありがとうございました。

お礼状は送付しませんが、毎月グリーンレンジャーニュースをお届けいたします。

メールでの受信が OK の方は、mail@zao.org <<mailto:mail@zao.org>> まで、ご連絡をお願いします。

■3月の活動報告

3月13日(日) [8m以上の樹木調査、倒木処理]

今年初めてのお出かけ。前々日からリュックの中身を入れたり出したり、子供が遠足に行くようだ馬鹿にされながら出発。作業小屋への道に入ると両側が除雪された雪の塀の様。作業小屋の前、道路脇に駐車。さらに駐車スペースを広げるため、ボツボツ集合して来た人たちと久々に除雪作業をする。積雪のため「彩遊の森を散策」に予定変更。毎回のことだがスノーシューの履き方から四苦八苦、歩き方もままならない。しばらく暖かく新雪がなかったせいか動物の足跡が見当たらない。



木々の枝をチョコチョコ飛び回って囀るシジュウカラやきれいな色のカケスを観たり、遠くアナグマの森の方から軽やかに響いてくるキツツキのドラミングの音を聞きながら雪の上をのんびり歩くと、なんとも言えない豊かな気分させられる。途中から別かれた動物観察班は、カメラ備品と脚立を持ち、背中に汗をかきながら、ひたすら3つの森を歩く。昼をとうに過ぎて小屋に戻ると「脚立、必要なかったでしょう」と迎えられる。確かに、積雪があったのでカメラ設置作業に一度も使っていなかった。これが習性？、動物に笑われるなど照れ笑い。午後、動物観察記録を観る。その纏め方が今までと違い、より細分類し、観たい動画を瞬時に画面上に表示すると言うもので感心する。より綿密な作業を伴うと思うので頑張ってもらいたい。参加者:8名

その担当から、今回回収した録画に「アライグマ」の初映像があったとのメール。タヌキの間違ひではないかと思っただが、添付画像の尻尾は「アライグマ」の様。ホームページの動画で、是非ご確認を！！

3月21日(月)[空から見たブナの森]

上空から植林地を見るとどうなっているか見てみたいと思っていたところ、Yさんがドローンを持っているというので撮影を頼んでみた。快く引き受けてくれ、下見までしてくれた。素人はただ上から撮ればいいのかと思っていたが、映ったものを見て角度や映す範囲など検討が必要とのことだった。軽いので強風が吹くと飛ばされる、雨に濡れるのもよくないとのことなので心配した。3月21日の天気予報は晴れ、撮影日和だったが、日が差していたのは4号線までで、上り始めるとみぞれが降ってきた。幸い大降りにはならず、風でいくらか流されたものの映像は御覧の通りきれいに撮れていた。葉が展開したらどう見えるか、季節ごとの映像を見てみたいものである。

※ホームページに撮影した動画と静止画を掲載したので、ぜひご覧ください。

3月27日(日) [8m以上の樹木調査、看板清掃、苗畑整理]

まずは動画を確認することに。映写すると、「タヌキか」。再生すると、「アライグマ！！、アライグマが白石にいるのか？」となった。興奮治まらないが、雪が残っているので「間伐・倒木処理」へ予定を変更し、作業へ。蔵王おろしで倒木したり、役割を全うしてくれたヤマハンノキの間伐など、これからも年中続く作業である。動物観察班は、彩遊の森ではカモシカの足跡などを見、リスの森では何かの糞を見る。アナグマの森では雪で閉ざされていた巣穴が開いているが、まだ裏穴を多く使用してらしく撮れてはいないようだ。



作業小屋前に戻ると、陽射しに誘われてか、おぼつかない飛び方をし、雪解けしたばかりで緑になったばかりの葉っぱに時々休む蝶を見つけた。昼食中の仲間に「何蝶？」と画像を見せると、「クジャクチョウ」と即答あり、図鑑も見せてもらうに、やはりクジャクチョウ。これが見れるなんて今年はいさいいとか、。？。午後、天気に誘われて木々の状態を観ながら各森の雪の上を散策。元林に入ると、ちっちゃい白いセリバオウレンがひとつ咲いているのを見つけた。春の息吹を感じる。参加者:4名

■今後の活動案内

[例会]

集合時間 4月10日(日)10時

集合場所 作業小屋

内容 8m以上の樹木調査、倒木処理

[例会]

集合時間 4月24日(日)10時

集合場所 作業小屋

内容 自然観察(サクラ・スミレ類他)、お花見